Spectracom 社 SecureSync 製品
アップグレード手順

Rev.C

内容

1. はじめに 3
   1.1. 概要 3
   1.2. アップグレードの制限と手順 3
   1.3. 注意事項 3
2. V5.0.2 から v5.4.1 へのアップグレード 4
   2.1. コンフィグファイルのバックアップ 4
   2.2. アップグレードファイルの読み込み 6
   2.3. アップグレードの実施 7
   2.4. アップグレード後の確認 7
3. V5.1.2 から v5.4.1 へのアップグレード 8
   3.1. コンフィグファイルのバックアップ 8
   3.2. アップグレードファイルの読み込み 9
   3.3. アップグレードの実施 10
   3.4. アップグレード後の確認 12
4. アップグレードに失敗した場合の対処方法 13
   4.1. アップグレードの失敗について 13
   4.2. 過去の FW パッケージが読み込まれてしまう場合 13
   4.3. 本体メモリの空き容量が 10%を切っている場合 14

文書改訂履歴

改訂年月日	版数	改訂内容	作成	査閲	確認
2016/8/4	A	初版	鈴木		山之内
2018/5/16	B	1.3 注意事項を追加	鈴木		山之内
2018/7/27	C	4 章アップグレードに失敗した場合の対処方法を追加 リビジョンの管理番号を変更（1,2,3→A,B,C）	鈴木	末野	山之内

1. はじめに

1.1. 概要

本書は、Spectracom 社製 SecureSync のアップグレード手順を記したものです。本書は、バージョン 4.8.9 から 5.0.2、5.0.2 から 5.4.1、5.1.2 から 5.4.1 以降のアップグレード手順に対応しています。

⚠注意
お使いのバージョンが 4.8.9 より前である場合は、一度 4.8.9 へアップグレードした後、5.0.2 へアップグレードをする必要があります。

1.2. アップグレードの制限と手順

例)v4.8.6 から v5.4.1 以降へアップグレードをする場合

1. v4.8.6→v4.8.9 へアップグレード
2. v4.8.9→v5.0.2 へアップグレード
3. v5.0.2→v5.4.1 以降へアップグレード

の 3 段階でアップグレードを実施する必要があります。

V5.1.2 以降、SecureSync の GUI に変更が生じました。そのため、本書では「v5.0.2→v5.4.1 へアップグレード」の手順と「v5.1.2→v5.4.1 へアップグレード」を記載します(1,2 も手順自体は 3 と同様です)。

1.3. 注意事項

1. アップグレード中に”F5”などを押して画面を更新すると、一時的に画面へのアクセスができない状態になります（極力押さないようお願いします)。

⚠アップグレード中は絶対に電源を落とさないでください。そのまま電源を落とした場合、内蔵のフラッシュメモリの破損に繋がる恐れがあります。

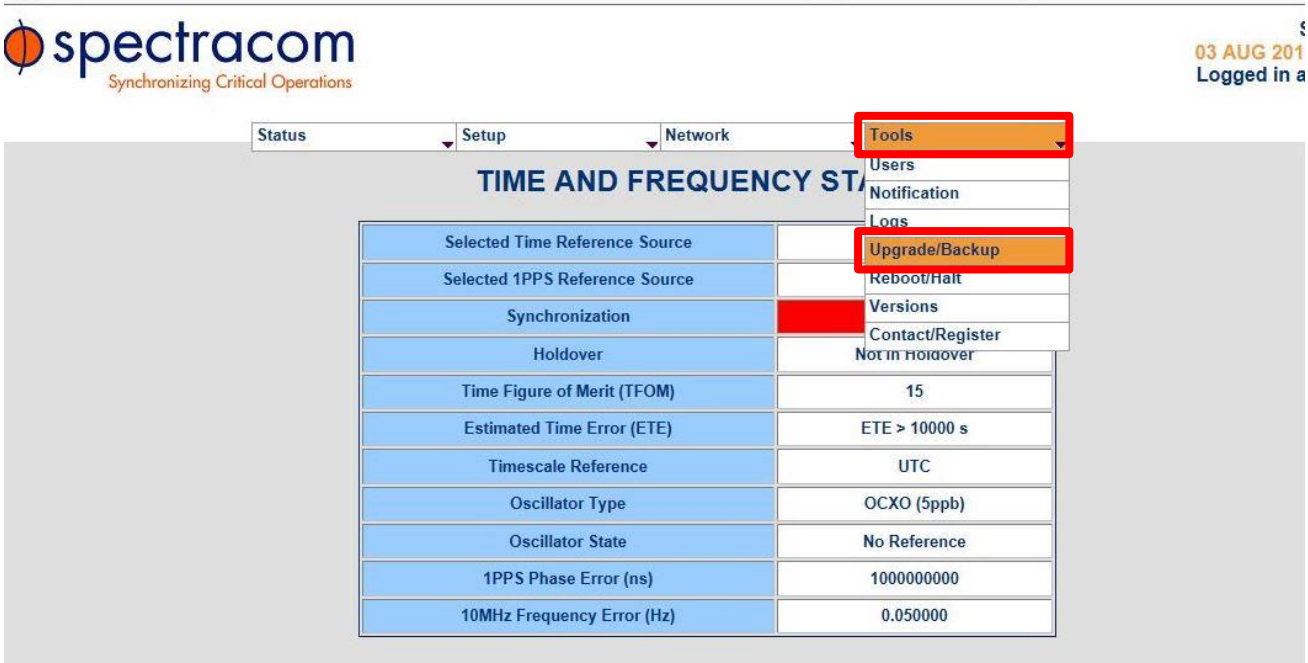
F5 を押してしまった場合は、20~30 分程時間を置き、再度 F5 を実行してください。それでもアクセスが出来ない場合は、弊社サポート窓口までお問い合わせください。返送修理が必要な可能性があります。

2. アップグレードに失敗した場合は、項 3.3 で「Force upgrade」をお試しください。それでも失敗する場合は、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

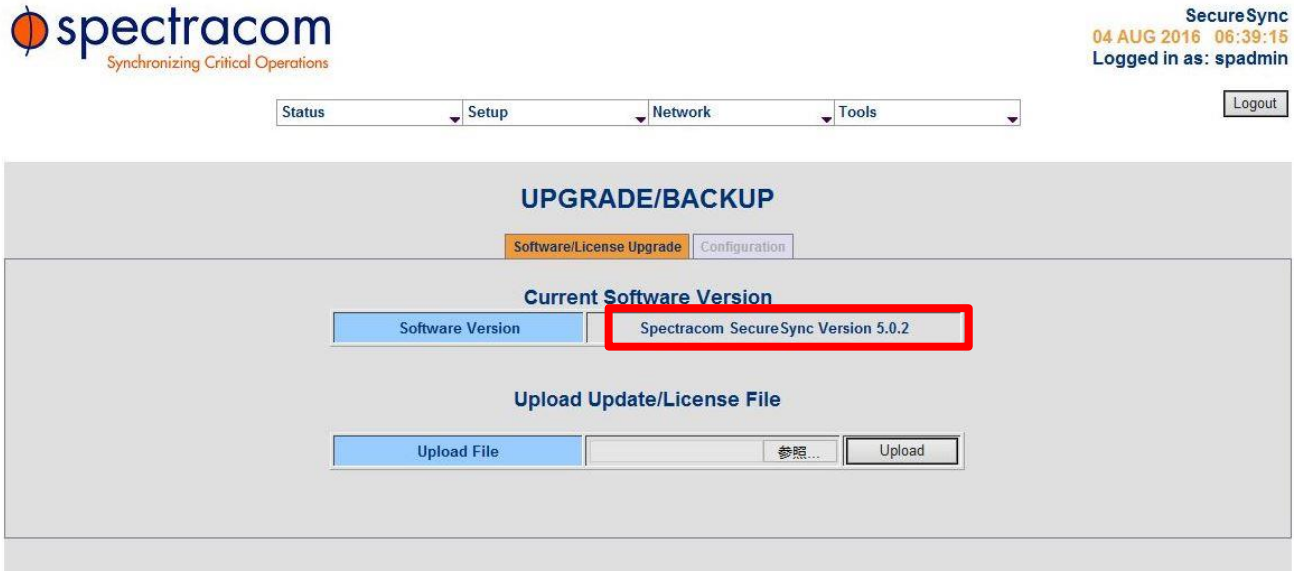
2. V5.0.2 から v5.4.1 へのアップグレード

2.1. コンフィグファイルのバックアップ

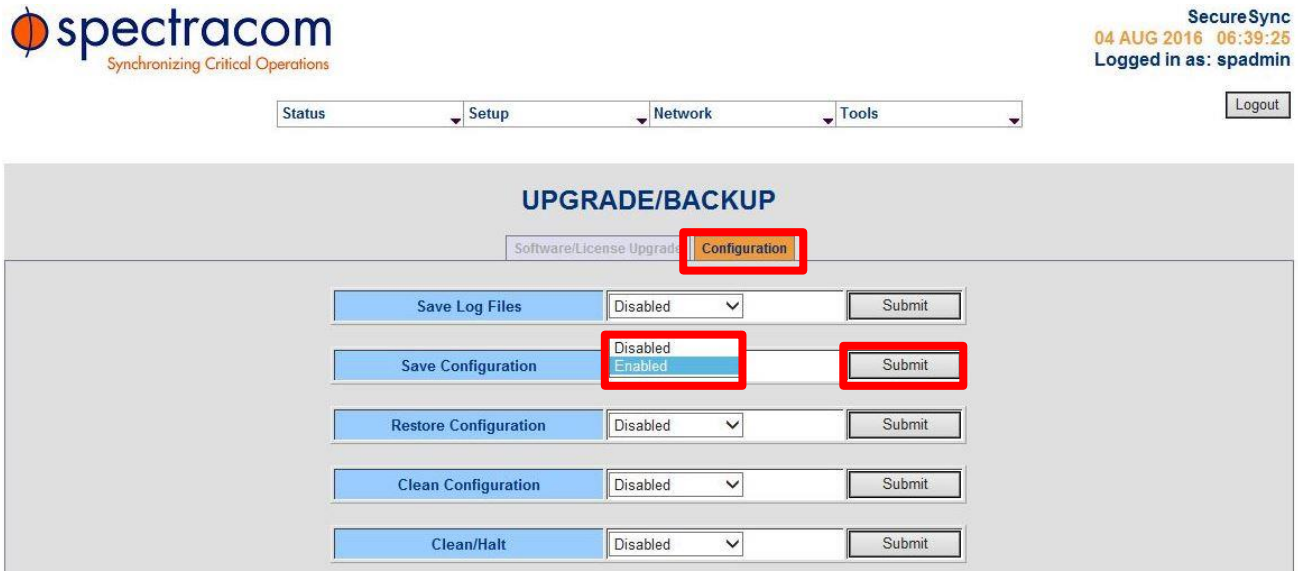
[Tools]>[Upgrade/Backup]へ移動します。



現在のバージョンが 5.0.2 であることを確認します。



[Configuration]タブへ移動し、Save Configuration を Disabled から Enabled へ変更します。



“Submit”ボタンを押すと/home/spectracom/xfer/config/配下に”securesync.conf”ファイルが生成されます。**コンフィグの生成、ダウンロード中も SecureSync の動作に影響はありません。**

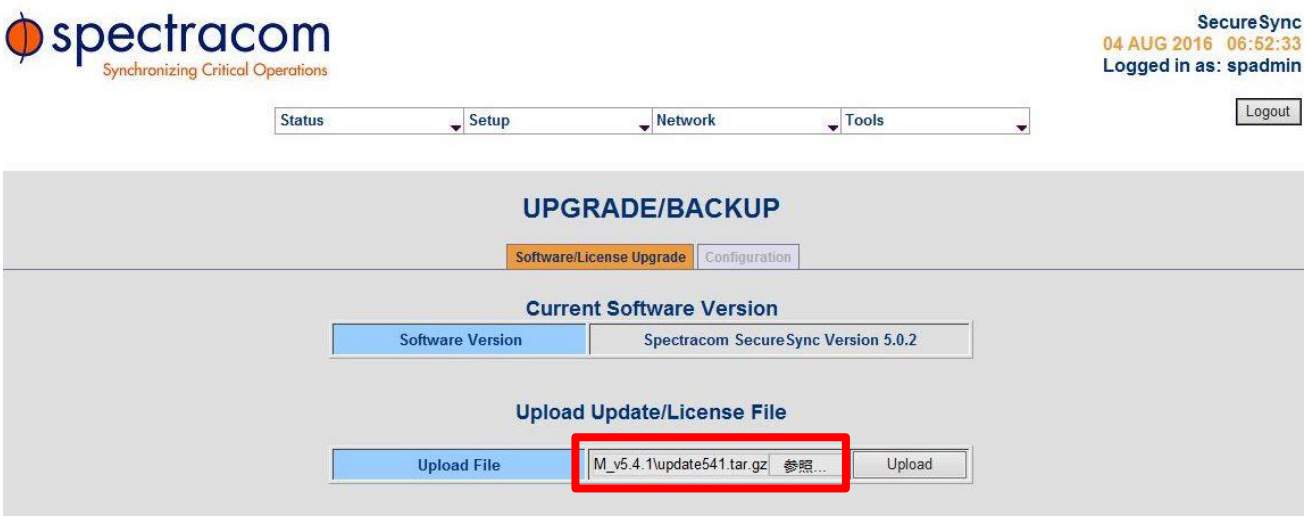
このファイルはブラウザ上からダウンロードすることができません。
TeraTerm など、SSH 接続でアクセスするか、FTP を用いてダウンロードする必要があります。
詳細は”設定ファイル_バックアップ手順書”を参照してください。

2.2. アップグレードファイルの読み込み

タブを[Software License Upgrade]へ戻し、v5.4.1 のアップグレードファイルを”参照”ボタンから読み出します。

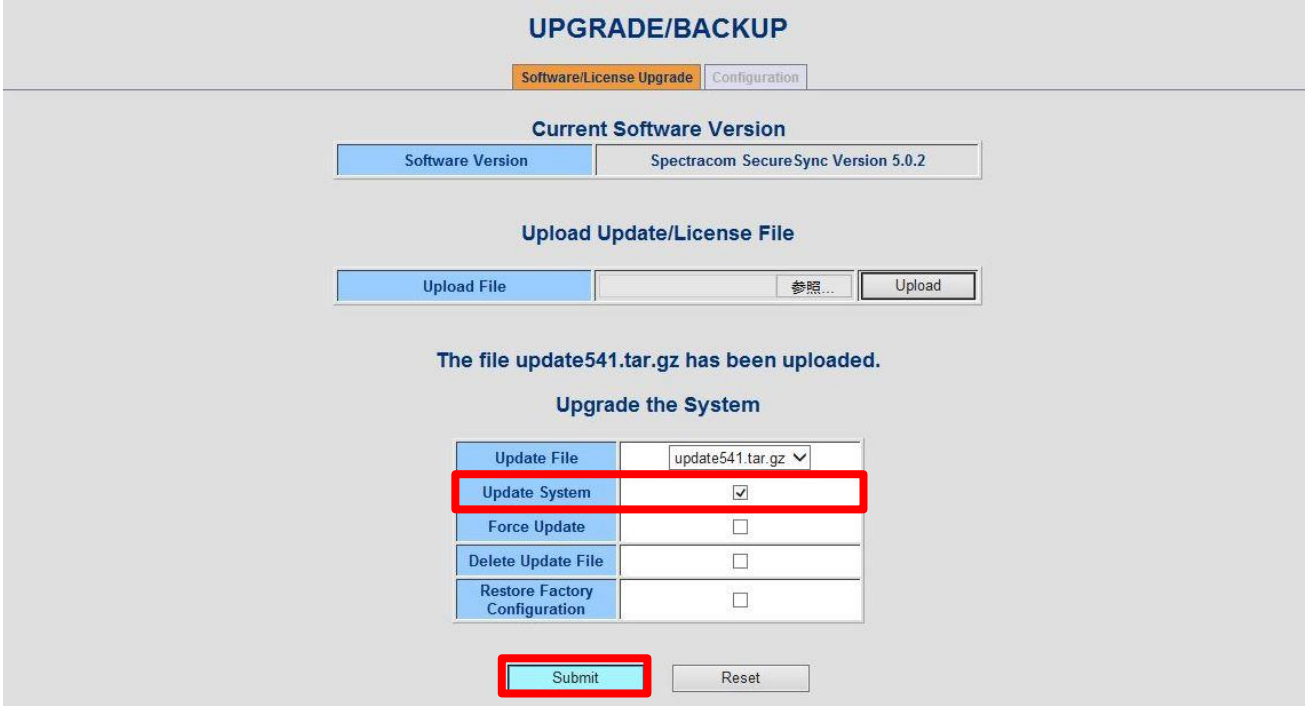
ファイル名：update541.tar.gz

“Upload”ボタンを押します。
この操作では、アップグレードは実行されません。アップグレードファイルが SecureSync 本体へ移動します



2.3. アップグレードの実施

アップロードが完了すると、以下の画面が表示されます。
“Update System”にチェックを入れ、”Submit”をクリックします。
”Submit”をクリックすると、アップグレードが開始されます



Update System　　：通常のアップグレード
Force Update　　：同じバージョンファイルを上書きする場合や、ダウングレードする場合に使用
Delete Update File　　：アップグレードファイルを削除します。別のバージョンのファイルをアップロードする時に使用
Restore Factory Configuration　　：工場出荷時に戻したい場合、Perform Upgrade が実行できない場合に使用

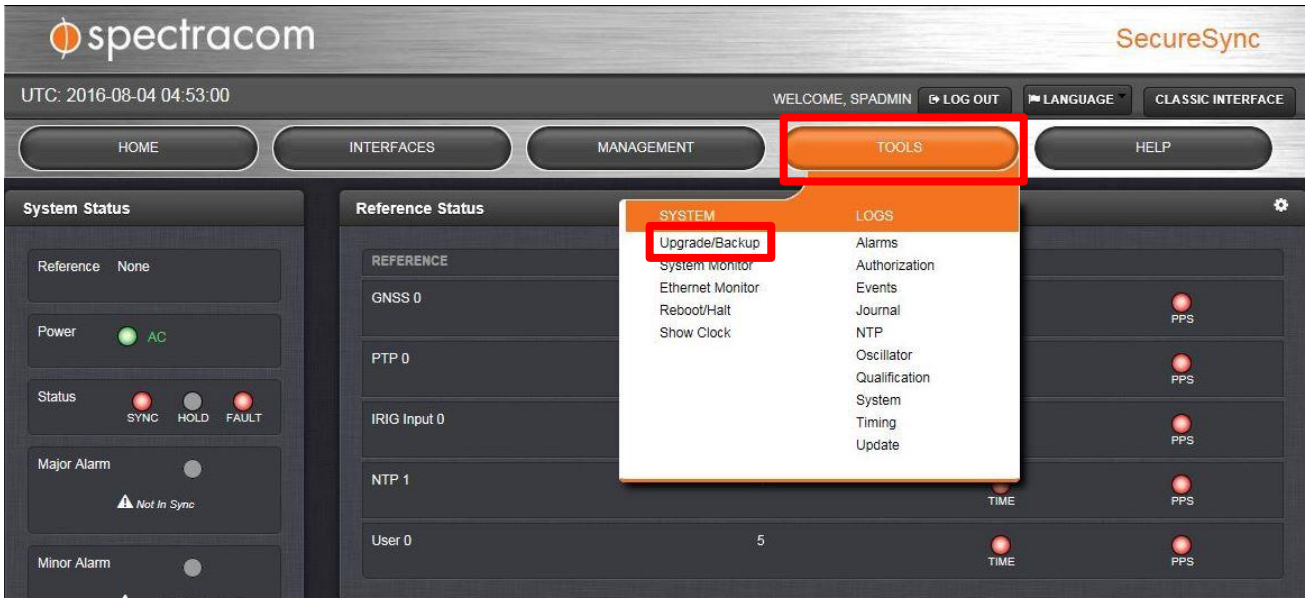
2.4. アップグレード後の確認

3.4 を参照してください。

3. V5.1.2 から v5.4.1 へのアップグレード

3.1. コンフィグファイルのバックアップ

[TOOLS]>[Upgrade/Backup]へ移動します。



現在のバージョンが 5.4.1 でないことを確認し、[Save Configuration]をクリックします。

コンフィグファイルがダウンロードされるので、PC 上に保存します※)。

※）コンフィグの生成、ダウンロード中も SecureSync の動作に影響はありません。

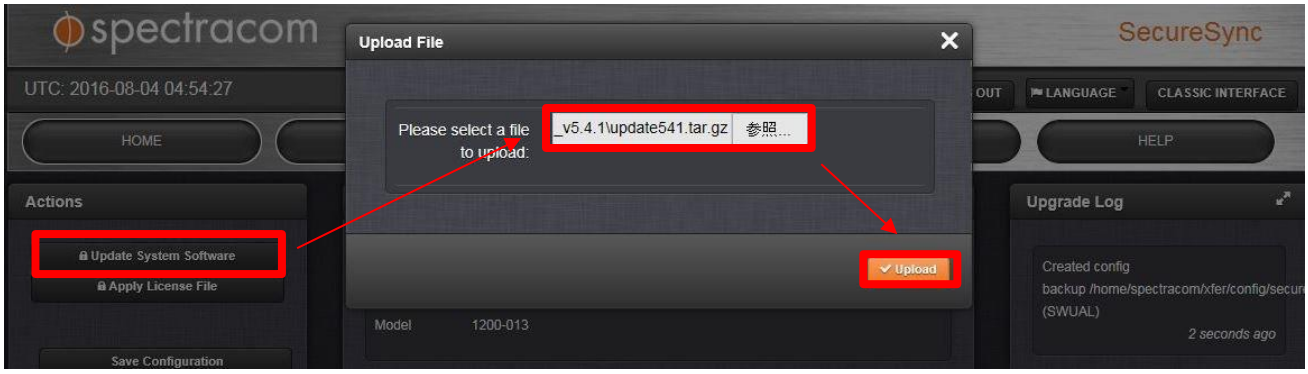
3.2. アップグレードファイルの読み込み

V5.4.1 のアップグレードファイルを読み込みます。PC 上に、下記のファイルを用意します。

ファイル名：update541.tar.gz

[TOOLS]>[Upgrade/Backup]画面の[Update System Software]をクリックし、上記のファイルを”参照”ボタンから選択します。

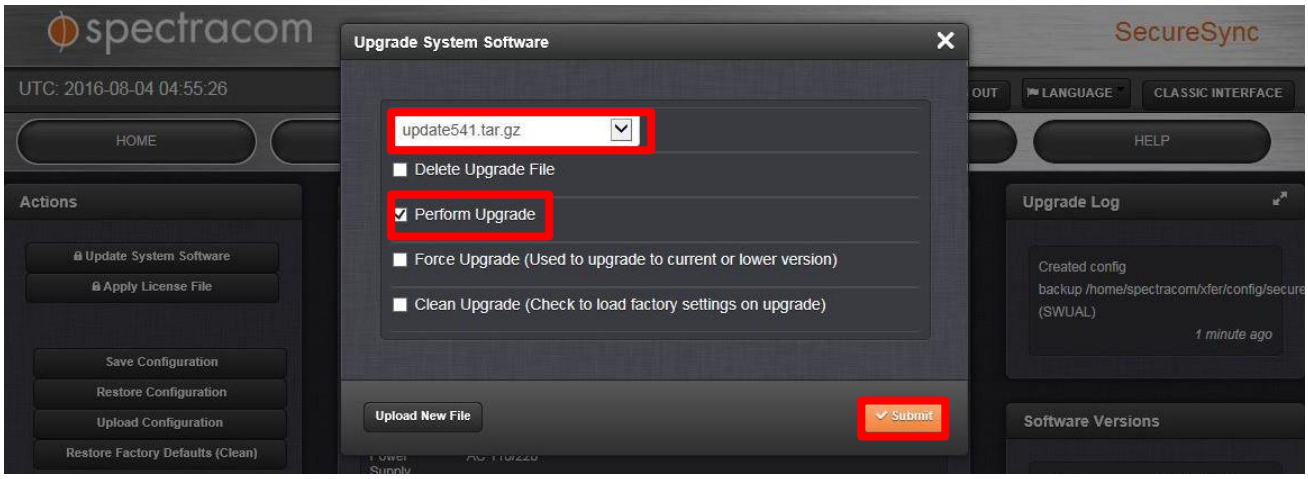
参照した後、“Upload”ボタンをクリックします。



この操作により、アップグレードファイルを SecureSync 本体へ移動します。
そのため、この段階ではアップグレードは実行されません。

3.3. アップグレードの実施

ファイルが読み込まれると、下記の画面が表示されます。

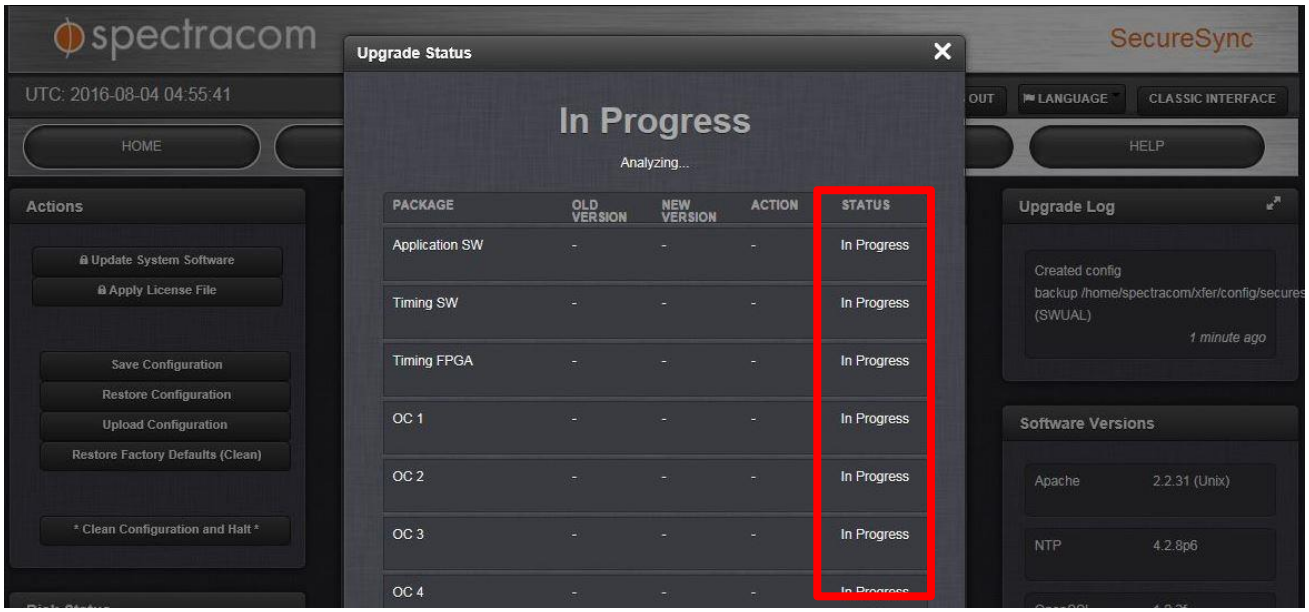


“Perform Upgrade”を選択し、”Submit”ボタンをクリックします。

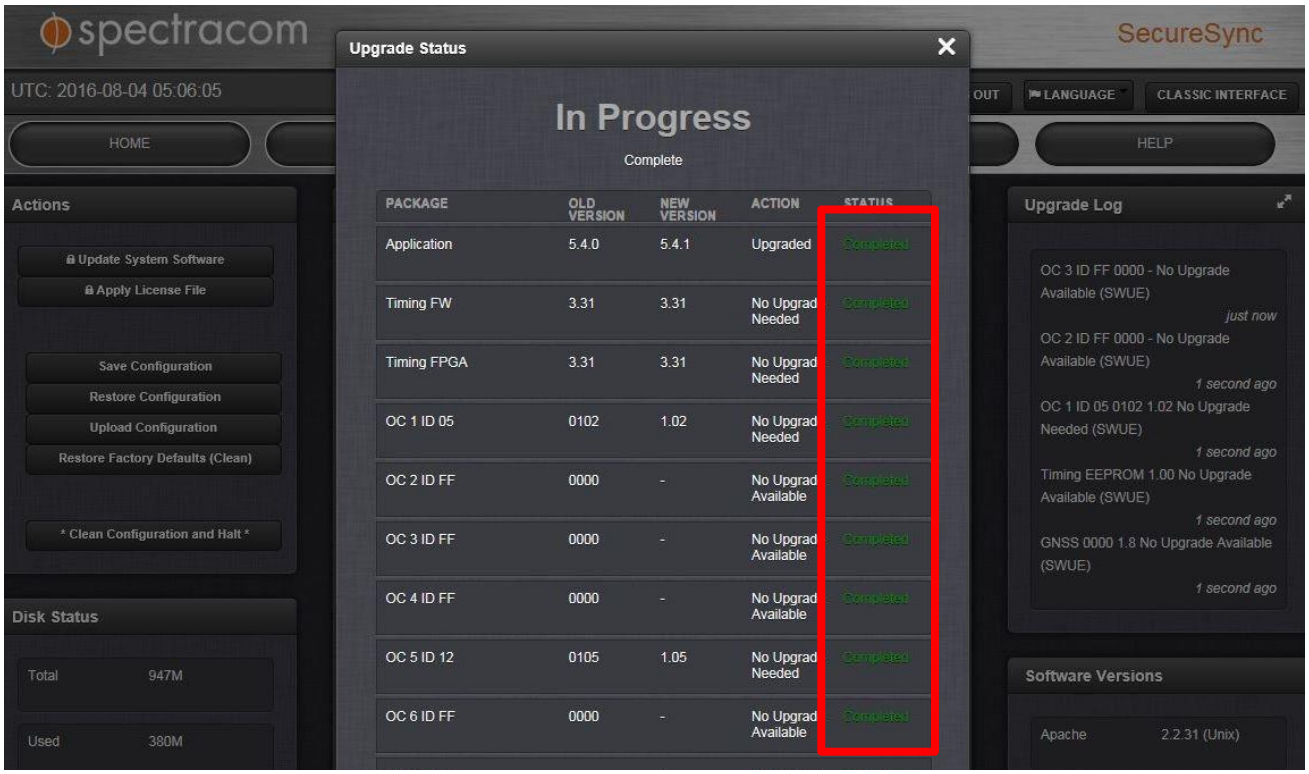
”Submit”ボタンをクリックすると、アップグレードが実行されます“Perform Upgrade”では、これまでの設定は引き継がれます

Delete Upgrade File：アップグレードファイルの削除
Perform Upgrade：通常のアップグレード
Force Upgrade　：同じバージョンファイルを上書きする場合や、ダウングレードする場合に使用
Clean Upgrade　：設定を工場出荷時に戻したい場合、Perform Upgrade が実行できない場合に使用

アップグレード開始直後



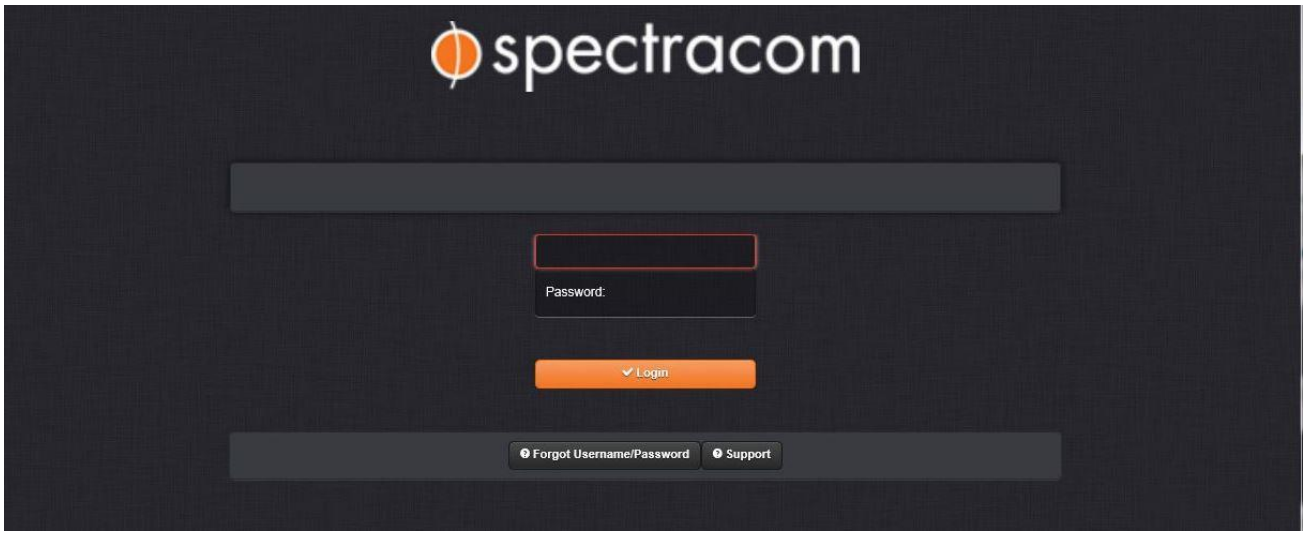
アップグレード完了



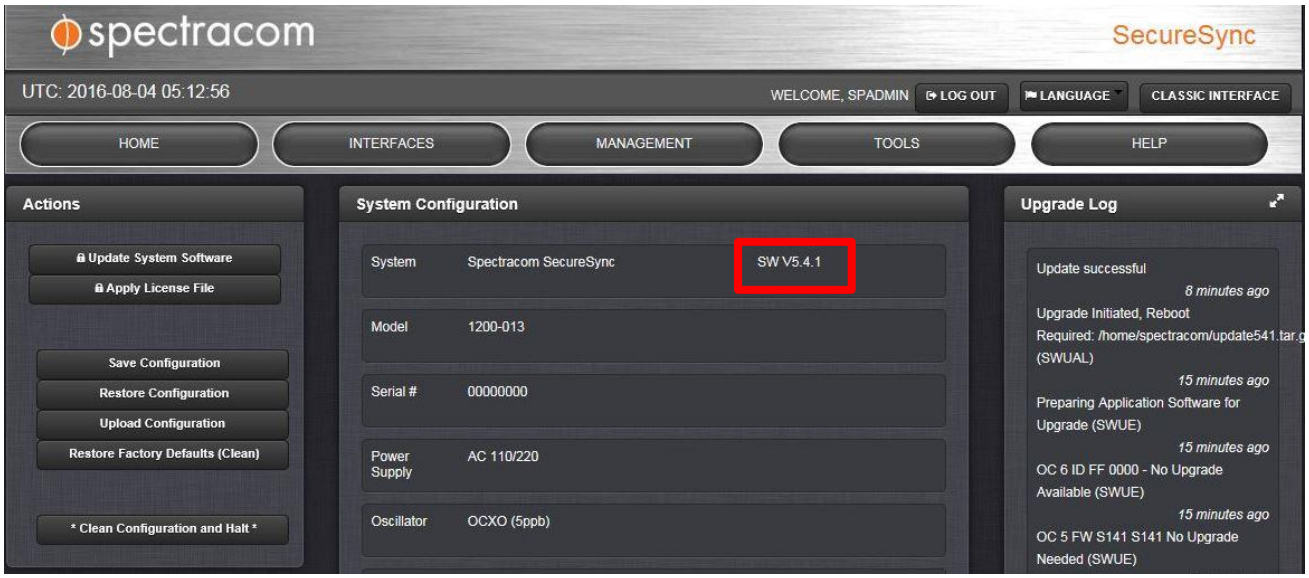
アップグレードが完了しても、画面は切り替わりません。”F5”ボタンを押し、ブラウザを更新してください。

3.4. アップグレード後の確認

ブラウザを更新すると、ログイン画面が表示されます。



ログインすると、アップグレード後のバージョンを確認する画面が表示されます。



以上でアップグレード作業は完了です。

4. アップグレードに失敗した場合の対処方法

4.1. アップグレードの失敗について

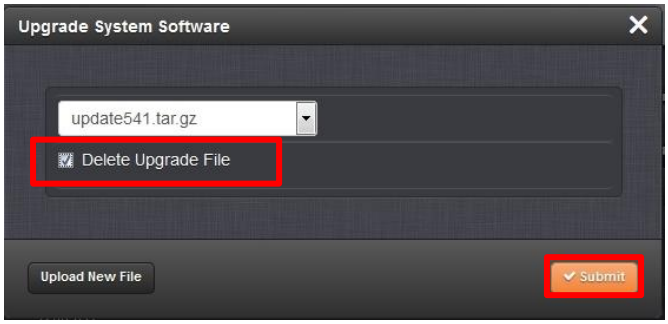
アップグレード中に強制的に電源を落とすなどの外的要因以外にも、いくつかの条件によりアップグレードに失敗する場合があります。

次の章から、失敗の原因とその対処方法をご紹介します。

4.2. 過去の FW パッケージが読み込まれてしまう場合

FW をアップグレードする場合は、予めアップグレードパッケージを SecureSync にアップロードします。過去のアップグレードで使用したパッケージが SecureSync 本体に残っている場合、そのパッケージが読み込まれてしまい、アップグレードに失敗する場合があります。

対処方法：最新版以外のアップグレードパッケージを削除する



Upgrade 画面上で、プルダウンメニューから最新版以外の FW ファイルを選択した後、”Delete Upgrade File”にチェックを入れ、”Submit”をクリックします。その後、再度アップグレードをお試しください。

4.3. 本体メモリの空き容量が 10%を切っている場合

本体メモリの容量が 10%(目安)を切っている場合にも、アップグレードが失敗する可能性があります。

対処方法：不要なデータ・ファイルを削除する

1. SSH でログインする
2. 次のコマンドを実行し、全体の空き容量を確認する

```
>df -h
```

```
Spectracom SecureSync Version 5.8.1
spadmin@Spectracom ~ $ df -h
Filesystem      Size  Used Avail Use% Mounted on
/dev/sda1       946M  785M  113M  88% /
devtmpfs         10M     0   10M   0% /dev
tmpfs            50M  420K   49M   1% /run
shm             247M     0  247M   0% /dev/shm
cgroup_root      10M     0   10M   0% /sys/fs/cgroup
spadmin@Spectracom ~ $
```

3. ルートディレクトリへ移動する

```
>cd ../../
```

4. 容量の多いディレクトリ順に表示する

```
>du -s * | sort -nr | head
```

5. そのディレクトリへ移動し、再度コマンドを実行する

```
du: cannot read directory 'var/lib/dav': Permission denied
du: cannot read directory 'var/spool/fcron': Permission denied
du: cannot read directory 'var/spool/cron/lastrun': Permission denied
25956   usr
11388   home
7208    opt
4228    lib
3384    srv
5856    boot
2104    etc
328     bin
004     sbin
012     var
spadmin@Spectracom / $ cd usr
spadmin@Spectracom /usr $ ls
bin  cli  i686-pc-linux-gnu  lib  libexec  local  portage  sbin  share  tmp
spadmin@Spectracom /usr $ du -s * | sort -nr | head
```

移動後に再度コマンドを実行

Permission denied と表示されているディレクトリは無視してください。これらを繰り返し、容量を圧迫しているディレクトリとファイルを特定します。

多くの場合、容量を圧迫する原因は過去のアップグレードパッケージ、もしくはログファイルです。これらが原因の場合は、ブラウザ画面からの削除をお願いします。

以上

Spectracom 社 SecureSync 製品
アップグレード手順

Copyright © 2018 TOYO Corporation All Rights Reserved.